

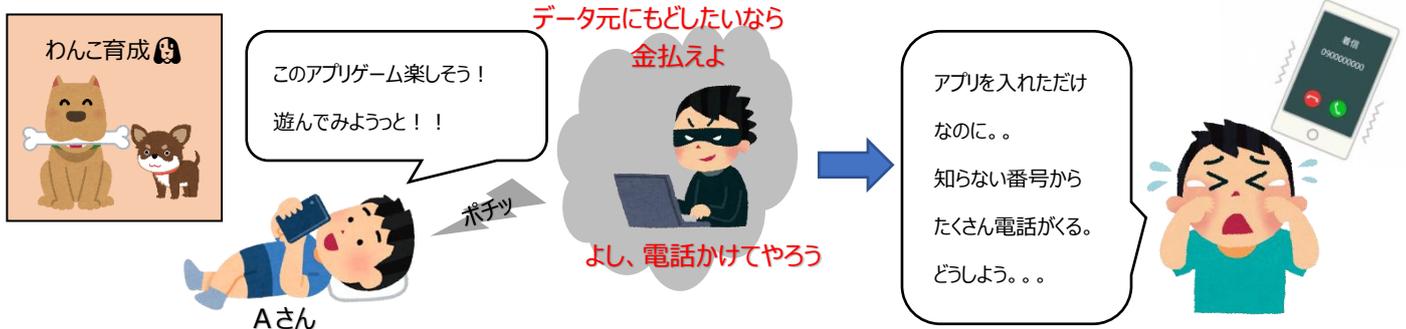
不正アプリやウイルスによる個人情報漏洩について

不正アプリとは、利用者を騙してスマートフォンに入り込み、裏でひっそりと不正な活動を行うアプリのことです。インターネットが生活や経済活動にとって不可欠な社会インフラとなる中、不正アプリを使ったサイバー犯罪は益々巧妙化・悪質化しています。

実例として、“無料アプリをダウンロードしたことで、端末情報や連絡先情報が外部に送信され、不審な電話がかかってくる”、“メルマガで興味をそそるような内容のメールが届き、メール内にあったアプリをダウンロード後に迷惑メールが大量に来るようになった”など、様々な被害報告が児童でも多くあります。では、どのように不正アプリから個人情報漏洩してしまうのか、見てみましょう。

例1 ～ 不正なwebサイトからの誘導 ～

ある日、Aさんはゲームアプリを探していた。あるサイトに楽しそうな無料アプリを見つけ、すぐにダウンロードした。アプリを起動すると、内部データが暗号化されスマホが使えなくなり、画面上に「データを元に戻してほしければ金を払え」という内容のメッセージが表示されてしまった。



※不正アプリでの金銭の要求には、応じる必要はありません。

例2 ～ 占いアプリが実は不正アプリだった ～

Bさんは、たまたま見つけた無料の占いアプリをダウンロードした。そのアプリは、自分の趣味などを入力して占うものだった。

アプリに情報を入力し占いをした後、

Bさんのスマートフォンに

大量の迷惑メールが届くようになった。

迷惑メールの内容は、占いアプリで入力した趣味に関するものばかりだった。



例のように、不正アプリによって個人情報漏洩し、子供たちが危険にさらされるかもしれません。

子供たちを守る為に、不正アプリについて対策できているかチェックしてみましょう！

- スマートフォンのOS(iOSやAndroidといった、システム全体を管理し、様々なソフトを動かすためのソフトウェア)は最新にしている。
- 公式アプリストア(Google Playなど)からダウンロードできるか確認し、ダウンロードの際のパスワードは、子供が知らないものを設定している。
- こどものスマートフォンのフィルタリング機能を設定している。

上記対策は、サイバー犯罪から子供達を守ることに繋がります。不正アプリや不正アクセスによる被害は年々増加しているのが現状です。

サイバー被害にあった時には、自分たちで解決しようとせず、警察など専門機関に相談しましょう。